日本石鹸洗剤工業組合

60周年を機に未来へ前進期す

日本石鹸洗剤工業組合は5月30日、都内で創立60周年記念式典と第59回総会また懇親会を開催し、参集した加盟社らが過去の歴史を振り返ると同時に、そこから浮かび上がる経験を糧に未来へ進んでいく意識を共有した。

計3種類の会合を締める格好で行われた懇親会では、始めに総会で続投が決まった志水双葉理事長が挨拶に登壇し、新しい任期への意欲を聴衆へ述べるかと思わせた。

ところが、予想に反し志水理事長は、「長時間にわたり、皆さま本当にご苦労さまでした」と第一声を繰り出し、なにより先に長丁場を乗り切った参加者の気力を賞賛し、そのうえで「私からは労をねぎらって早速、会食していただきたいという思いしかない。挨拶はこれまで。意義のある懇親会としましょう」と快活に言い切った。

これを受け、来賓代表の挨拶は経産省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課の上村昌博課長が行った。上村氏は、「60周年の場に、皆様と一緒にいられることを大変光栄に思う」と参加者を持ち上げ、さらに商況に関して「石鹸洗剤の業界はとても好調に推移している」との認識を披露した。また、その要因は「皆さまがユーザーニーズを徹底的に踏まえて、良いものを適切なコストで届けられるシステムがあるからだ」と述べ、目の前に並ぶ組合加盟社へのエールとしていた。

また、乾杯を発声するためにマイクを取った組合相談役の三木晴雄氏は、60周年を振り返った言葉を織り交ぜてベテランの風格を示した。まず、三木氏は「業界に入って、ちょうど55年間になる」と自身の立ち位置を明確にし、「この組合は2～3度、非常に厳しい状況があった。もう組合がなくなってしまうというところをくぐり抜けて今日がある」と述べ、荒波をしのげた理由について「その都度、理事長が適切なリードをして今回を迎えているからだ」と語った。

さらに、三木氏が「この55年間を振り返ると、ずいぶんいろいろな企業が消えてなくなった。なくなった企業からは、共通したものを感じ取ることができる」と述べると、失敗の実例から学びたい聴衆の聞き耳が立った。

三木氏は、消えて行った勢力に共通していた点について、「成長ではなく、技術革新のない『膨張』をして行き詰まったこと」と、もう一括りでは「変えなければいけないところを変えず、変えてはならないところを変えてしまったこと」と語り、これらは「55年間に大きくなると、文句を言わずに従わせることが一部であるのかもしれない」と投影して見せ、服従ではなく「皆さんの意見を聞いて、良い形にしていくことが望ましい」と述べた。

さらに、持論であるといった趣きからは、「権力の上に長くあぐらをかき続けるのはよくない。常務理事や専務理事は長くなるのはよくない」と語り、あたかも、健全な意思疎通が支配する体質でありたいとの宣言のようだった。

このほか、解散した神奈川県卸組合の後を受ける有志が都連神奈川支部の形となったことなど、全5項目の報告を行って挨拶を閉じた。

来賓を代表して挨拶をしたのは、ロゼットの藤井敬二社長。しっかりと自社の看板商材を宣伝しながら「ロゼット洗顔パスタ」が知れ渡ったのは卸が「小売店を一軒一軒回って拡販してくださったからだ」と述べ、その結果、卸とメーカーは長い歴史と深い信頼関係のもとでこの商売が築かれていると定義し、この関係を継続していくことを強く希望して乾杯を発声した。

見た、当組合の歴史から強く感じている」と総括。野太い声で、「変えていかなければいけないものは、大胆に変えていく組合と企業であってほしい」と述べた。

名称変更を飛躍の足掛かりに

東京都化粧品洗剤卸商業組合

東京都化粧品洗剤卸商業組合は5月28日、第38回通常総会を開催し、総会の部では議案審議で定款の一部変更や前年度決算関係書類など、計6議案が承認を得た。

懇親会の部では、司会を務めた桑原啓一副会長(花生堂社長)により冒頭で議案審議によって決まった団体の名称変更が告げられ、7月1日から新たに東京都化粧品日用品卸連合会として歩むことで意識共有を図った。

また、即断で通称が「都連」に決定した。「都卸連」を提唱した桑原副会長対し、森友会長が「言いやすいから」との根拠により「都連」で押し切った。

新会長として挨拶した森友徳兵衛氏(森友通商社長)は、恒例の流れで話題性の高い日本大学アメリカンフットボール部の悪質な反則問題を取り上げ、その考察が卸業界のレベルアップのために活かせないか、または反面教師に該当する側面はないかといった考えを語り始めた。

森友会長は、日大アメフト部が起こした一件を世間が根本で問題視している部分に触れ、「組織も

私の H＆B 日記

カフェインレスブーム

近頃、コンビニやスーパーの飲料売場を覗くと、パッケージに「カフェインレス」と大きく書かれた飲料が多く並んでいる。

喫茶店でも、カフェインが少ない「デカフェコーヒー」をメニューに追加する店が増えたように感じる。この「カフェインレスブーム」が到来したことを、私はとても嬉しく感じている。

私は普段からコーヒー、紅茶等のカフェイン飲料を好んでよく飲んでいるが、夜にカフェインを摂取すると目が冴えてしまい、寝付きが悪くなるため、なるべく控えるように気を遣っている。

しかし、「今日はめずらしく一度もカフェイン飲料を飲まなかった」と考えながらコーヒーゼリーを食していることもあるほど、カフェインの誘惑からはなかなか逃れられない。そもそも、なぜカフェインは避けられるようになったのだろう。

カフェインは、過剰に摂取することにより、不眠や、心拍数の増加を招くこともあるといわれている。また、落ち着きがなくなったり、焦燥感を抱いたりするなどの精神面に悪影響を及ぼすことがあるという。カフェインの胎児への影響はまだわかっていないそうだが、妊娠中や授乳中の女性はカフェインを控えるよう病院で指導されることもある。

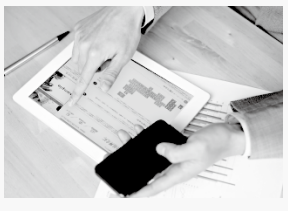
また、これから夏が始まり、熱中症が心配されるが、熱中症対策としてカフェイン飲料を摂取すると、その利用作用によって水分が体外に排出されてしまい、身体が水分不足を起こしてしまうことが懸念される。

カフェインの過剰摂取が身体に及ぼす影響は、まだ解明されていない部分も多くあるが、何事も適度に愉しむことが大切で、過剰に摂取することは控えた方がよいだろう。

コーヒーや紅茶が飲みたくても、身体への影響が心配で我慢していた私のような人にとって、カフェインレス飲料は救世主となっている。カフェインが入っていなくても、変わらぬ風味のコーヒーや紅茶を愉しませてくれる飲料メーカーに感謝したい。　(渡)

化粧品業界のビジネスチャンスをつなぐ
化粧品OEM・容器・
原料の製造依頼サイト
より検索性を高めました
おシゴト粧界ナビ

業種・地域で探す（企業検索）



化粧品OEM会社、容器・パッケージ会社、原料会社など多様な会社の絞り込み検索が行えます。業種・所在地といったシンプルな選択ですので、これぞといったパートナー先を選ぶ方法に適しています。

仕事依頼ジャンルで探す（お仕事依頼）

お仕事の依頼内容に応じて、当サイトがおすすめする会社へとメールを一括送信するサービスです。業種別に用意したお仕事の依頼ジャンルを選んで検索するだけで、そのジャンルを得意とする会社をマッチングします。

化粧品OSN or お仕事紹介ナビ で検索
おシゴト粧界ナビ Oshigoto Shokai Navi